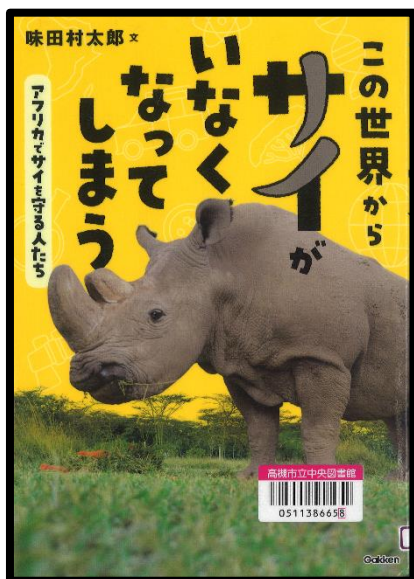


この世界からサイがいなくなってしまう アフリカでサイを守る人たち



味田村 太郎/文

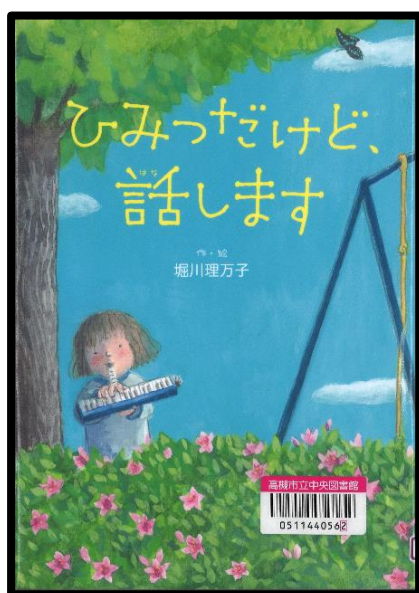
学研プラス[489]

みなさん、サイについてよく知っていますか？サイはわたしたち人類よりずっと昔から地球上にいました。今いるサイは世界に5種類で、急速に数が減っています。なぜ少なくなったのでしょうか。

それは、サイの角をねらった密猟のせいです。専門家は、このままでは20年後にはアフリカからサイがいなくなってしまうのではと心配しています。

サイを守るため、密猟者と戦う人たちが、どんな取り組みをしているのか知ることができます。

ひみつだけど、話します



堀川 理方子/作・絵

あかね書房[913ホリ]

走っている電車が止まって見えるコッをつかんだ^{のりお}典生。ひもあめをなめながらブランコをこぐことにあこがれている、まや。入院中のじいちゃんに‘命の水’をとどける^{まなぶ}学。学校がいやで休んでいるけど給食^{きゅうしゅく}は気になる、しょうこ。

同じクラスの4人は、放課後のぐうぜんのやりとりでつながり、いっしょに電車を見ることになります。

話してみたら、気の合う友だちがすぐそばに見つかるかもしれません。明日も学校に行こうかなと思えるようなお話です。

エヴィーのひみつと消えた動物たち



マット・ヘイグ/作

みやさか ひろみ
宮坂 宏美/訳

ゆうこ/絵

ほるぷ出版[933ヘイ]

動物が大すきなエヴィーは、あるとくべつな力を持っている。それは、動物と話することができる“ギフト”という力。パパからは、ギフトのことは秘密にするように言われている。

ある日、動物園でライオンの穴に落ちた男の子を助けるため、ギフトを使ったエヴィーは「ライオンと話せる少女」として有名になってしまう。

それ以来、多くのペットが行方不明になったり、ギフトを狙う悪人が現れたり、エヴィーのまわりが騒がしくなっていく。

めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン！



たや みつひろ
多屋 光孫/文・絵

合同出版[エ]

芽がでて、まもないほそ〜いねぎのことを「めねぎ」といいます。おすしやさんでも使われている野菜です。ある日、「めねぎ農園」の鈴木さんのところに、特別支援学校の先生が生徒を働かせてほしいとやってきます。

障害のある人には農園の仕事はできないと決めつけていた鈴木さんでしたが、かわり方や伝え方を変えるだけで、生徒たちが働ける人になったことにガ・ガ・ガーン！となります。

障害のある人と共に生きる社会とは何かを、わかりやすい文と力強い絵で伝えます。